



講師

株式会社 Y&S オーダー 代表取締役
メンタルヘルス・マネジメント・マスター
人材開発コンサルタント

藤野 祐美氏（履歴書裏面）

「こんな時にはこんな対応」
を具体例で解説

もはや他人事ではない！心の病気への正しい対応 自信ありますか？

新企画 部下をもったら覚えたい

職場のメンタルヘルス対応

予防、発生時の対応、職場復帰への支援、安全配慮義務できますか？

日程 2008年2月25日(月) 午前10時より午後4時45分まで

会場 弊社ホール 大阪市北区中之島2-2-7
(中之島セントラルタワー17階)対象 部下をお持ちのすべての方、人事・労務ご担当者、
安全衛生推進者、メンタルヘルス推進者

セミナープログラム

特にこのような職場の方にお勧めです

- 従業員50名以上
- 1ヶ月以上の休職者がいる
- 1ヶ月の残業100時間以上
- 休職からの復帰者がいる
- 交代制勤務
- 1人1人の仕事量が多い
- 気軽に話せる雰囲気がない
- ストレスの多い職場

1 今、職場で求められる“安全配慮義務”

- 1) どんどん増える“職場が原因”の心の不調者
- 2) メンタルヘルス問題がもたらす“大きな悪影響”
- 3) メンタルヘルスに関して、企業が負う法的責任
・安全配慮義務、労働安全衛生法 他
- 4) メンタルヘルス対策は“リスクマネジメント”
“業績アップ”の観点からも有効

2 知っていますか？メンタルヘルスの基礎知識

- 1) メンタルヘルスとは何か？
- 2) ストレスの原因、表れ方を知る **チェックシート**
- 3) ストレスのケアの方法を学ぶ
- 4) 「うつ病」の傾向と特徴

3 「早期発見」

- 1) “現場の上司の行動” がとても大切
- 2) 部下の不調に“早く気づく”ためのチェックポイント
- 3) 部下が“いつもと違う！”と感じた時に、
まず最初にやるべき事

4 「どう接する？」

心の不調を起こした部下への“正しい対応”

- 1) “上司のあなた” がすること
事例研究 こんな相談されたらどうする？
①「自分はお荷物社員だ」と暗い表情で話す
②社員の親が「子どもが残業で大変そうだ」 他

事例研究 こんな部下にどう対応する？

- ①忙しそうで、元気がなくなった部下
- ②社外で泥酔し、迷惑をかけた部下 他

対応練習

- ① 相談ののり方、
- ② “丁寧な” 話の聴き方
- ③ “適切な” 質問の仕方
- 2) “専門家の医師” にしかできないこと
- 3) 社内に対応できない場合の“頼れる社外専門家”と
利用の際のポイント
①相談できる公共機関
②理解していますか？心療内科と精神神経科の違い
③民間の相談窓口

5 「職場復帰」のための具体的方法

- 1) 5ステップからなる“プログラム”を作成する
- 2) 重要なのは“休業中”から始めること
- 3) ステップごとのプログラムと留意点
- 4) “もう職場に復帰できるか？”判断のための評価ポイント
- 5) 復職者に対する、現場上司の7つの心構え
- 6) “緊急事態”が起こった場合、どう対応する？

6 「予防」上司の行動、職場全体の体制

- 1) “従業員全員”へのメンタルヘルス研修
- 2) “上司”が行う職場の環境づくり
- 3) “会社の方針”として行う人事制度の見直し

セミナーに関する詳しい内容・お申込みはこちら

<http://www.smbc-consulting.co.jp/company/seminar/kansai/>もしくは検索サイト **SMBCセミナー関西** でも簡単に検索できます。

三井住友銀行グループ

SMBC コンサルティング